第４学年４組　外国語活動　“I like Mondays.”

学習活動・予想される児童の反応	本時見られた深く学び続ける子どもの姿

1　教師とALTとのデモンストレーションを見て、本時のめあてをつかむ。

・全部の曜日をしっかり覚えて、英語で言えるようになりたいな。
・途中でヒントを出せば、お互いにクイズを楽しむことができるな。
・ジェスチャーをつけると、相手にも伝わりやすいな。

友達と好きな曜日クイズを出し合おう。

2　チャンツやゲームを行い、好きな曜日について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

○“The days of the week”を歌ったり、シャウトゲームをしたりして、“What day do you like?”や“I like ～ days.”の表現に慣れ親しむ。

3　クイズ活動を行い、好きな曜日について友達と尋ねたり答えたりして伝え合う。

○　クイズ活動に向けて、自らの課題に応じて、学習方法を選択する。　**【方法選択】**

根拠	クイズで使う英語をまだうまく言えないな	やりとりの仕方を上手にできるようにしたいな	友達の良いところを真似してみたいな
方法	お手本カードを聞きながら話す練習をする。	教師やALTに聞いたり一緒に練習したりする。	友だちと練習や助言をし合う。

【個別と協働の一体的充実】

・　お手本カードを聞いた練習がうまくいっているか、同じ方法を選んだ友達とやりとりをして確かめる。
・　友達と練習したけれど、曜日が答えられずにやりとりができなかったからお手本カードを聞き直す。

○　友達とクイズを出し合い、好きな曜日を伝え合う。
・使用する英語表現や、よりよいコミュニケーションを図るために大切なことを確認してから活動に臨む。
・活動途中に代表児童によるやりとりを見て、その後の自分たちにつなげて活動を進める。

A: What day do you like?　　B: This is my week.
A: Do you like Mondays?　　B: No, I don't.
A: Umm, do you like Thursdays?
B: Yes, I do! I like Thursday. I play soccer on Thursdays.

4　学習を振り返る。

・お手本カードを聞いて練習をしたので、友達と英語でクイズを出し合うことができました。
・○○さんのまねをして、ジェスチャーをしながら曜日クイズを出し合いました。
・他の友達の好きな曜日も聞いてみたいと思いました。

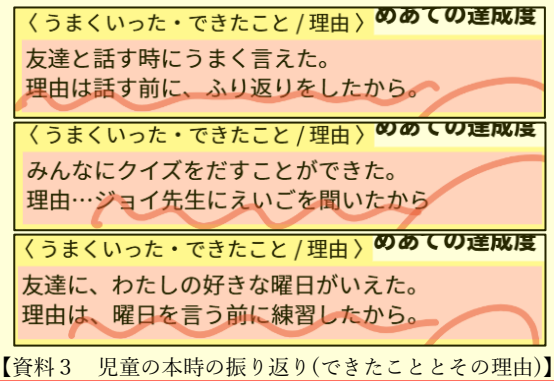
○　学習者用端末に録音されたお手本カードを聞く練習方法と、友達と実際にやり取りをする練習方法とを、自由に選択することができるようにしたことで、英語の音声やリズムに慣れ親しもうしたり（資料１）、相手に配慮したコミュニケーションの仕方を身に付けようとしたり（資料２）するような、自らの課題を解決するために取り組む姿が見られた。

また、クイズ活動中に代表児童のやり取りを見る場面を設定したことで、よりよいコミュニケーションを図るために大切な視点を改めて確認し、その後の自らのやり取りにつなげようとする姿が見られた。

【資料１】

【資料２】

○　クイズ活動の前に児童が自らの課題に合った練習方法を選択する場面を設定したことで、「友達と話すときに自分が好きな曜日をうまく言えた」「みんなにクイズを出すことができた」と実感する姿（資料３）が見られた。



【資料３　児童の本時の振り返り（できたこととその理由）】

○　最終活動であるクイズ活動のデモンストレーションを単元の始めにも行っていたことで、単元全体を通してどんな英語表現を身に付ければよいかという見通しをもちながら学ぶ子どもの姿が見られた。

○　ＩＣＴを活用した学習方法を選択できるようにしたことで、児童が自分のペースで英語の音声やリズムに慣れ親しむことができ、自らの課題を解決するために学習方法を自己選択・自己決定する姿が見られた。

△　全体のめあてのみを提示したことで、一人一人の児童が本時で何ができるようになりたいかという目標を本時の始めにもつことができなかった。前時の振り返りを早い段階で行い、それぞれが自らのめあてを明確にする場面を設定する必要があった。